

第1号議案

令和3年度事業報告及び計算書類・監査報告に関する件

令和3度事業報告

理事長 中川 法一

長引く COVID-19 感染対策により、この3年間は殆どの研修事業がオンライン開催となりましたが、「学びを止めない」をスローガンに、昨年度もセンター事業として射場一寛大会長のもと第33回大阪府理学療法学会をハイブリッド形式にて開催でき、研修事業としては第3回生涯学習研修集会、そして多様な研修会・講習会を企画しオンライン開催を行いました。さらに旧制度での最後の新人教育プログラムや、臨床実習指導者の質向上をめざしたフォローアップ研修もオンラインにて開催をいたしました。また、新人のレベルアップのための症例発表会は各支部にご協力をいただき開催することができました。各事業に多くの皆さまにご参加をいただきましたこと感謝申し上げますとともに、大変困難な社会情勢の中でも学び続ける会員の方々の姿勢に衷心より敬意を表します。

令和3年度はセンター発足から5年目を迎え、今までの歩みを振り返り検証をするとともに今後5年の方向性と方針を検討する節目でありました。これらを考える時に最も大きなキーワードは日本理学療法士協会が推進する新生涯学習制度であることに間違いはありません。特に注目すべきは、新人教育プログラムが前期研修として2年間に延長され、3年間の後期研修修了後に登録理学療法士資格が付与される形の卒後の継続学習制度を基盤とし、その上位資格に認定理学療法士および専門理学療法士が位置づけられることです。先ずはこの制度改革を会員の皆さまに周知し理解をしていただくことがセンターとして急務であったのですが、ギリギリまで制度の詳細が協会から発表されず、センター役員一同は焦るばかりであり、タイムリーな情報伝達ができなかったこと書面をお借りしてお詫び申し上げます。

焦慮しながらも新制度の開始は令和4年4月と決まっていたので、新制度に対応可能な組織を想定し体制の強化を行いました。先ずデジタルライゼーションそしてデジタルトランスフォーメーションを未来図に明確に加え情報管理局の新設を行い、事務局、生涯学習局、教育局と併せて4局体制といたしました。情報管理局の新設により、ICT関連に不慣れな方へのフォロー体制を整備することができ、学会や研修会のオンライン開催が格段にスムーズになりました。またSNSでの情報発信にも注力し、多くの情報を迅速に届けられるようになりましたが、まだまだセンターそのものの存在感が低く、十分に情報が活用されていない感は否めず今後の繰越し課題としています。次に、体制強化の一環として局長制を導入しました。センターは大阪府理学療法士会の学術局を独立させたという経緯で発足していますので、理事長を含め5名の理事体制で運用を行って参りました。全ての案件

をわずか5名で議論し企画し運営指揮をとるということで物量（マンパワー）不足だけでなく知量不足も懸念事項としてありました。各局内に局長職を設けることで、担当理事とともに局内を俯瞰した管理運営を担っていただくことで、質量の向上を図っています。また理事会には局長も、拡大理事会には部長にも参加を促すことで、多様な意見交換を行いセンターの方向性を共有できるよう構造改革を進めております。

感染対策のなか思うように対面での研修事業を行えない状況で、待望の学術誌「総合理学療法学」を創刊することができました。臨床や基礎のほか、教育、地域、政策、健康増進など多岐にわたる理学療法関連分野の研究活動を幅広く総合的に網羅した学術情報を発信することを目的とし、雑誌名にあえて“大阪”との地域名を入れなかったのは、総合理学療法学が全国的に展開することを夢見ているからです。オンラインジャーナルとしてJ-STAGE から無料で閲覧・ダウンロードが可能ですので、是非ともご活用くださるとともに、多くの研究成果の投稿をお待ちしています。

最後になりましたが、一日も早いCOVID-19 感染症の終息と、会員諸氏のご健康を心よりお祈り申し上げ事業報告とさせていただきます。

1. 学術集会の開催等による理学療法に関する研究発表事業

(1) 第33回大阪府理学療法学術大会の準備に関する事業

機器、備品の貸し出し（パソコン、カードリーダー等）
オンライン学術大会開催に必要な備品の貸し出しを実施した。

事業番号101：学術大会部

(2) 学術大会運営支援に関する事業

- ①学術大会大会長決定から開催までのロードマップを作成した。
- ②学術大会開催の指針となるマニュアルを作成した。
- ③学術大会準備に必要なひな形文章の見直しを行った。
- ④第33回大阪府理学療法学術大会の開催を支援した。

日 時：令和3年7月11日（日）

開催形式：現地会場とWEB会場でのハイブリッド形式

現地会場：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

テーマ：「生涯学習—人財育成としての実践—」

参加登録者：650名（協会会員634名、非会員4名、学生12名）

WEB会場への総アクセス数：82508（学会当日67759）

現地会場参加者数：157名（準備委員46名）

演題数：118演題（対面口述：21演題、WEBポスター：97演題）

内 容

(1) 基調講演

「生涯学習—人財育成としての実践—」

射場 一寛氏（大会長）

(2) 教育講演1

「人が育つ経験学習」

松尾 睦先生（北海道大学大学院）

(3) 教育講演2

「理学療法士におけるFasciaの捉え方」

今北 英高氏（畿央大学）

(4) 特別講演

「ICT技術に対応した次世代リハビリテーション」

吉村 和也氏（株式会社エクサウィザーズ）

(5) シンポジウム

「人財育成としての実践—教育する側と教育を受ける側の思い—」

座長 高木 綾一氏（株式会社 Work Shift）

シンポジスト 都留 貴志氏（市立吹田市民病院）

徳田 和宏氏（阪和記念病院）

貞末 仁美氏（愛仁会リハビリテーション病院）

一宮 晶氏（株式会社イチタス）

(6) 第 33 回大阪府理学療法学術大会 優秀演題賞

- ・演題名：「膝前十字靱帯再建術後の早期心理面の評価がスポーツ復帰の予測因子となるか」

筆頭演者：近藤 翔太氏（大阪労災病院）

- ・演題名：「大腿骨近位部骨折術後患者の術後早期歩行獲得に関する因子の調査」

筆頭演者：小宗 英貴氏（千船病院）

- ・演題名：「在宅終末期がん患者の自宅トイレでの排泄動作維持を目指した症例」

筆頭演者：山口 里奈氏（株式会社フルーシオン リハビリ本舗事業部）

- ・演題名：「緊張性振動反射による拮抗筋緊張抑制効果の経時的変化について -H/M 比を用いた検討-

筆頭演者：安積 裕二氏（喜馬病院）

- ・演題名：「心不全患者に対し運動療法と栄養管理を多職種間で行い自宅退院となった一症例」

筆頭演者：渡辺 彩氏（市立池田病院）

- ・演題名：「早期訪問リハビリテーション介入により、在宅生活継続が可能となった非結核性抗酸菌症の 1 例」

筆頭演者：中上 和洋氏（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院）

(7) 卒業研究優秀演題賞

- 演題名：「片脚ドロップジャンプ着地動作における着地方向の違いによる衝撃緩衝と下肢関節運動との関係」

筆頭演者：中村 彰吾氏（大阪行岡医療大学 医療学部理学療法学科）

事業番号 102：学術大会部

2. 理学療法に関する機関誌等の発行事業

(1) 学術誌の編集及び発刊に関する事業

学術誌『総合理学療法学』第 1 巻を発行した。府士会員および全国の教育機関に配布用に冊子体の印刷とオンラインジャーナルとして J-STAGE に登載した。投稿論文数は研究論文が 3 編、症例報告が 1 編の計 4 編であった。

『総合理学療法学』第 2 巻の発行に向け論文を募集し、編集委員会として投稿論文の

チェック・査読依頼・論文審査・校正依頼を実施した。また、受理論文の早期公開を実施した。

事業番号 201：学術誌編集部

(2) 研究活動の助成に関する事業

第 60 回近畿学会および第 33 回大阪府理学療法学術大会優秀演題者に学術誌への論文投稿を促した。生涯学習研修集会における「臨床研究のすすめ」を学術誌編集部が担当し、第 4 回生涯学習研修集会の企画を行った。様々な形での研究活動の支援を今後とも検討する。

事業番号 202：学術誌編集部

3. 理学療法士等の資質向上を目的として行う研修等事業

(1) 第 3 回研修会運営支援に関する事業

第 3 回研修会運営に関する補助を行った。

第 3 回生涯学習研修集会報告

開催期間：2021 年 7 月 5 日（月）～7 月 17 日（土）※7 月 11 日（日）除く 12 日間

会 場：オンライン

参加方法：ZOOM ウェビナー

参加申込者数：161 名

参加延べ人数：1,072 人

研修①：103 人 研修②：104 人 研修③：66 人 研修④：69 人 研修⑤：65 人
 研修⑥：43 人 研修⑦：48 人 研修⑧：57 人 研修⑨：中止 研修⑩：86 人
 研修⑪：57 人 研修⑫：83 人 研修⑬：94 人 研修⑭：84 人 研修⑮：35 人
 研修⑯：39 人 研修⑰：39 人

スケジュール

7月

曜日 日付	月 5	火 6	水 7	木 8	金 9	土 10	土 10	土 10	土 10	日 11
研修開始	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	9:00	11:00	13:00	15:00	第33回 大阪府理学療法 学術大会
研修終了	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	10:30	12:30	14:30	16:30	
研修番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
領域	神経	基礎	基礎	基礎	教育・管理	基礎	生活環境支援	運動器	運動器	第33回 大阪府理学療法 学術大会
講師	諸橋 勇	工藤 慎太郎	奥 寿郎	谷埜 予士次	長福 武士	松木 明好	柴田 美雅	宮下 浩二	山田 英司	
日付	12	13	14	15	16	17	17	17	17	
研修開始	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	9:00	11:00	13:00	15:00	
研修終了	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	10:30	12:30	14:30	16:30	
研修番号	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		⑮	⑯	⑰	
領域	基礎	生活環境支援	内部障害	内部障害	神経		基礎	教育・管理	生活環境支援	
講師	町田 志樹	岡原 聡	堀江 淳	田原 将之	木野本 誠		三谷 保弘	岩田 健太郎	山崎 裕司	

内 容

領域	メインテーマ	講師候補	所属	講演タイトル
基礎	理学療法士としての解剖学	工藤 慎太郎	森ノ宮医療大学	運動器理学療法に役立つ解剖学って？
		町田 志樹	了徳寺大学	MeAV anatomie 3Dで学ぶ いまさら聞けない解剖学
神経	脳卒中患者の理学療法	諸橋 勇	青森県立保健大学	脳卒中患者の理学療法Tips～コンディショニングの概念を通じて運動学習を考える～
		木野本 誠	ボバースリハビリテーション教育センター	脳卒中後遺症の理学療法に必要な姿勢制御の知識
運動器	バイオメカニクスの視点からみた理学療法	山田英司（中止）	仙台青葉学院短期大学	変形性膝関節症の治療
		宮下 浩二	中部大学	投球障害に対する肩・肘関節への理学療法
内部障害	内部障害に強くなる	田原将之	(医)愛心会 東宝塚さとう病院	(成人)循環器合併症に強くなる
		堀江 淳	京都橘大学	呼吸リハビリテーション～理学療法士は何をしなければならないのか～
教育・管理	卒前・卒後の理学療法教育の課題	長福武志	熊本セントラル病院	臨床実習実践指導論
		岩田健太郎	神戸市立医療センター中央市民病院	複合疾患・重複障害時代に求められる人材育成－Residency and Fellowship education
生活環境支援	特別講演：生活行為向上マネジメント (Management Tool for Daily Life Performance)	柴田 美雅	八千代リハビリテーション学院	専門的臨床思考と実践の先にあるもの ～いま、PTに知ってもらいたいMTDLPのこと～
	人生100年時代を支援する	岡原 聡	大阪急性期・総合医療センター	勤労者の健康増進に貢献する産業理学療法法の紹介
		山崎 裕司	高知リハビリテーション専門職大学	維持期でも効果が出せる基本動作練習
研究から論文執筆まで	理学療法士における臨床研究のすすめ ー研究計画から論文執筆までー	奥 壽郎	大阪人間科学大学	理学療法と研究活動および研究の導入
		谷埜 予士次	関西医療大学	研究法の種類（疑問をモデル化する）、文献検索の方法（エビデンスの検索）
		松木 明好	四條畷学園大学	研究デザイン、データ収集、統計解析について
		三谷 保弘	関西福祉科学大学	研究倫理、学会発表から論文執筆へ

事業番号 301：学術大会部

（２）研修会の開催に関する事業

センター会員に対して年４回（計６講演）の研修会を開催した。①および②において、認定理学療法士の受験と更新に必要なポイントが取得できる研修会を企画とした。さらに②においては、３学会合同呼吸療法認定士及び心臓リハビリテーション指導士の受験と更新のポイントが取得できる研修会を企画した。また、同日開催（午前・午後）とすることで、循環器と呼吸器に必要なポイントが一日で取得でき、会員に対するメリット向上となるよう実施した。

③と④はオンライン開催だけでなく、オンデマンド配信を活用することで研修会終了から２週間まで視聴できるようにした。

① 第１回研修会

「介護保険領域における理学療法士の可能性」

テーマ：「介護保険施設での理学療法士の働き方と役割」

日時:令和3年4月10日(土) 午後2時30分から午後4時まで

講師:大井 直樹氏(シニアカレッジポプラ箕面船場)

座長:森 憲一氏(おもて整形外科・骨粗鬆症クリニック)

場所:オンライン開催

テーマ:「介護保険領域で理学療法士が持つべき視点、現状課題について」

日時:令和3年4月10日(土) 午後4時10分から午後5時40分まで

講師:遠近 高明氏(箕面市教育委員会 子ども未来創造局 保健スポーツ室
兼 健康福祉部 保健スポーツ室)

座長:森 憲一氏(おもて整形外科・骨粗鬆症クリニック)

場所:オンライン開催

参加者:30名

② 第2回研修会

「心臓リハビリテーション研修会」

テーマ:「高齢心疾患患者の評価と運動療法～心疾患をどのように評価し、
どのようにリスク管理しながら、どのように理学療法を進めるか～」

日時:令和3年4月11日(日) 午前9時から午後0時10分まで

講師:高橋 哲也氏(順天堂大学・順天堂医院リハビリテーション室)

座長:森 憲一氏(おもて整形外科・骨粗鬆症クリニック)

場所:オンライン開催

参加者:173名

「呼吸器疾患研修会」

テーマ:「見て聴いて触ってわかる呼吸器疾患の病態」

日時:令和3年4月11日(日) 午後1時から午後5時10分まで

講師:堀 竜次氏(森ノ宮医療大学)

座長:森 憲一氏(おもて整形外科・骨粗鬆症クリニック)

場所:オンライン開催

参加者:128名

③ 第3回研修会

テーマ:「足部機能と靴の重要性」

日時:令和4年1月30日(日) 午後2時から午後3時30分まで

講師:伊佐地 弘基氏(i-soul works)

座長:奥野 大輔氏(株式会社フルーション)

場所:オンライン開催

参加者:44名

④ 第4回研修会

テーマ:「エビデンスに基づいた認知症予防に向けた運動療法戦略」

日時:令和4年2月27日(日) 午前9時から午前10時30分まで

講師:今岡 真和氏(大阪河崎リハビリテーション大学)

座長：奥野 大輔氏（株式会社フルーション）

場所：オンライン開催

参加者：41 名

事業番号 302：研修部

（3）新人教育プログラム研修会に関する事業

① 第1回新人教育プログラム研修会

日 時：令和3年6月27日（日）午前9時30分から午後16時30分まで

場 所：オンライン開催

テーマ：「A-2 協会組織と生涯学習システム」17 名

講 師：熊崎 大輔氏（大阪府理学療法士会 会長）

テーマ：「A-3 リスクマネジメント」22 名

講 師：村西 壽祥氏（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

テーマ：「A-1 理学療法と倫理」17 名

講 師：千葉 一雄氏（大阪府理学療法士会生涯学習センター 監事）

テーマ：「A-4 人間関係および接遇」17 名

講 師：井阪 美智子氏（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

テーマ：「A-5 理学療法における関連法規」17 名

講 師：芳本 康司氏（大阪府理学療法士会生涯学習センター 副理事長）

場 所：オンライン開催

参加者：90 名

② 第2回新人教育プログラム研修会

日 時：令和3年9月26日（日）午前9時30分から午後16時30分まで

テーマ：「B-1 一次救命処置と基本処置」16 名

講 師：花崎 太一氏（大阪回生病院）

テーマ：「B-2 クリニカルリーズニング」10 名

講 師：増井 健二氏（堺若葉会病院）

テーマ：「E-1 臨床実習指導方法論」12 名

講 師：三木屋 良輔氏（森ノ宮医療大学）

テーマ：「B-4 症例報告・発表の仕方」9 名

講 師：植田 耕造氏（星ヶ丘医療センター）

テーマ：「B-3 統計方法論」8 名

講 師：元石 光裕氏（研修理学療法教育部 副部長）

場 所：オンライン開催

参加者：55 名

③ 第3回新人教育プログラム研修会

日 時：令和3年12月12日（日）午前11時から午後16時30分まで

テーマ：「D-2 生涯学習と理学療法の専門領域」8名

講師：射場 一寛氏（大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事）

テーマ：「D-3 理学療法の研究方法論」8名

講師：松木 明好氏（四條畷学園大学）

テーマ：「D-1 社会の中の理学療法」9名

講師：松野 正幹氏（研修理学療法教育部 部員）

テーマ：「E-2 コーチングとティーチング」8名

講師：永吉 啓吾氏（研修理学療法教育部 副部長）

場所：オンライン開催

参加者：33名

④ 第2回北支部新人症例発表会

日時：令和3年11月28日（日）午前9時から午後18時まで

場所：オンライン開催

主幹士会：高槻市理学療法士会（会長 大垣 昌之氏）

実行委員会：高槻市理学療法士会（委員長 寺田 健司氏）

発表演題数：69演題

参加者：258名

⑤ 第2回南支部新人症例発表会

日時：令和3年1月23日（日）午前10時から午後14時30分まで

場所：オンライン開催

主幹士会：堺市理学療法士会（会長 北口 拓也氏）

実行委員会：堺市理学療法士会（委員長 松川 訓久氏）

発表演題数：36演題

参加者：151名

⑥ 第2回東支部新人症例発表会

日時：令和4年2月6日（日）午前9時30分から午後14時40分まで

場所：オンライン開催

主幹士会：寝屋川市理学療法士会（会長 古川 博隆氏）

実行委員会：寝屋川市理学療法士会（委員長 杉本 泰彦氏）

発表演題数：75演題

参加者：237名

⑦ 第2回中支部新人症例発表会

日時：令和4年2月13日（日）～2月18日（金）

質疑応答コアタイム：2月13日（日）午後16時から午後17時まで

場所：オンデマンド開催

主幹士会：天王寺区理学療法士会（会長 生島 直樹氏）

実行委員会：天王寺区理学療法士会（委員長 塩津 貴之氏）

発表演題数：72演題

参加者：137 名

事業番号 3 0 3：研修理学療法教育部

(4) 指導者の育成に関する事業

指定規則の改正に伴い、臨床実習指導者には 2 日間の臨床実習指導者講習会（以下、講習会）を受講することが必須となった。ただ、講習会を受講しただけでは、「どのように診療参加型臨床実習を展開すれば良いのか分からない」といった悩みが聞かれることから診療参加型臨床実習の実践例を主体とした研修会を開催した。

開催日時：令和 4 年 1 月 26 日（水）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

開催形態：オンライン（ZOOM ミーティング）

テーマ：「診療参加型臨床実習について」、「運動スキルの指導経験」、「認知スキル指導経験」

演 者：都留 貴志氏（臨床実習教育部部長）、小原 滉平氏（臨床実習教育部部員）

参加者数：58 名

事業番号 3 0 4：臨床実習教育部

(5) 臨床実習教育基準に関する事業

新指定規則が適応となり、養成校では「臨床実習前後の評価」が必須となった。その評価手段の 1 つである“客観的臨床能力試験（OSCE）”について、藤田医科大学の大塚 圭氏、鈴木 由佳理氏をお招きし、OSCE の活用の仕方、今後の展望や課題などをご講義していただいた。

開催日時：令和 3 年 12 月 10 日（水）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

開催形態：オンライン（ZOOM ミーティング）

テーマ：「学校教育・臨床実習指導者における OSCE 活用に関する研修」

演 者：大塚 圭氏（藤田医科大学）、鈴木由佳理氏（藤田医科大学）

参加者数：63 名

事業番号 3 0 5：臨床実習教育部

4. 目的を同じくする法人等の行う活動に関する助言又は支援

(1) 協会主催の研修会の運営に関する事業

2021 年度の生涯学習センター主催の理学療法士講習会（以下、センター主催）19 件と協会助成事業の理学療法士講習会（以下、助成事業）1 件の管理を行った。また 2022 年度と同講習会の募集を行い、センター主催 24 件と助成事業 2 件の応募があり、センター主催 17 件と助成事業 1 件が採択された。

(2) 認定理学療法士認定臨床カリキュラム教育機関に関する事業

認定理学療法士認定臨床カリキュラム教育機関（運動器と脳卒中）について協会申請を行い、承認された。

事業番号401：受託研修部

5. 法人の目的を達成するために必要な事業

(1) ホームページ及びSNSによる広報に関する事業

- ①ホームページの管理運営を行った。
- ②SNS(Facebook, Twitter, Instagram)の管理運営を行った。
- ③学会等学術関連の広報活動を行った。

事業番号501：ソーシャルメディア管理部

(2) ニュースの編集及びホームページに関する事業

- ①研修会・講習会・学会等の学術関連の広報活動に関する事を行った。
- ②ホームページに活動・学会等に関する掲載を行った。

府士会ニュースへの掲載依頼 6 件

事業番号502：ニュース編集部

(3) 役員の行動に伴う業務管理に関する事業

①理事会開催の管理を行った。

第 1 回	4 月 21 日	第 2 回	5 月 11 日	第 3 回	6 月 9 日
第 4 回	7 月 21 日	第 5 回	8 月 10 日	第 6 回	9 月 15 日
第 7 回	10 月 20 日	第 8 回	11 月 9 日	第 9 回	12 月 15 日
第 10 回	1 月 19 日	第 11 回	2 月 8 日	第 12 回	3 月 9 日

②総会、学会、部会などへの出席の管理を行った。

第3回定時総会

期 日：令和3年 6 月 13 日（日）

場 所：新梅田研修センター（大阪市福島区福島 6 丁目 22 番 20 号）

代議員：総代議員数 74 名

出席者内訳 議決権行使書提出者 9 名 当日出席者 64 名

この議決権の総数 73 個

③他団体との交際はコロナ禍の影響により実施なし。

事業番号503：総務部

(4) 新卒者理学療法説明会（新人ガイダンス）に関する事業

コロナ禍の影響のため関係者及び参加者の健康と安全を考慮し、府士会とオンラインにて共同開催した。

事業番号 504 : 総務部

(5) センター運営の支援に関する事業

①理事会、定時総会、部長会議、その他諸会議の準備と運営を行った。

②学術奨励賞表彰に関する準備を行った。

③議案書、議事録、会議資料の作成と保管を行った。

④公文書、申請書、報告書の発行と保管を行った。

公文書 169 部

委嘱状 227 部

⑤センター刊行物、各種資料等の保管を行った。

⑥儀礼、慶弔対応を行った。

弔電 1 件

祝電 44 件(大阪府下養成校への入学・卒業祝い)

供花 1 件

⑦事務所、事務員の管理を行った。

⑧府士会を通じて協会との事務連絡を行った。

事業番号 505 : 総務部

(6) 理事長活動に伴う業務管理に関する事業

他団体との交流などの管理を行った。

事業番号 506 : 財務部

(7) 局・部運営に伴う業務の管理に関する事業

①局及び部会議の開催に関する管理を行った。

②センター以外の諸会議への出席に関する管理を行った。

事業番号 507 : 財務部

(8) 財務管理に関する事業

①会計業務委託先と連携を取り財務管理を行った。

②年間予算の作成及び各部支出状況の管理を行った。

- ・ 予算・決算に関する事業を行った。
- ・ 事業収入に関する事業を行った。
- ・ 事業費、管理費の支出などに関する事を行った。
- ・ 支給規則の遵守に関する事を行った。

事業番号 5 0 8 : 財務部

(9) 新年互礼会の開催に関する事業

府士会との共催事業であるが、長期化するコロナ禍の影響により関係者の健康と安全を考慮し R3 年度も開催は見送りとなった。

事業番号 5 0 9 : 総務部

(1 0) 役員選挙に関する事業

令和2年度に任期満了による役員改選が行われたことに伴い令和3年度については実施していない。

事業番号 5 1 0 : 総務部

(1 1) 情報技術の活用・支援に関する事業

- ① 第 3 回生涯学習研修集会の情報技術に関する支援を行なった。
- ② 第 33 回大阪府理学療法学術大会の情報技術に関する支援を行なった。
- ③ 新人症例発表会、生涯学習センター主催研修会の情報技術に関する支援を行なった。

事業番号 5 1 1 : システムエンジニアリング部